

平成30年度半田市障がい者自立支援協議会 第3回事業所連絡会ダイジェスト

発行元：半田市 平成31年3月

今回の事業所連絡会は、「就労継続支援C型（地域コミュニティー事業）」を提案するNPO法人楽笑の理事長である小田氏に、地域に根ざした事業所というテーマでご講演いただきました。

- 講師：小田 泰久 氏
- 日時：平成31年1月23日（水）10時00分～12時00分
- 場所：半田市役所 大会議室
- テーマ：「就労継続支援C型を提案します」
- 参加人数：41名



■ NPO法人「楽笑」とは

蒲郡市三谷町を拠点とし、障がい福祉サービスだけでなく、地元企業等と連携し、障がいアートや高齢ふれあいサロン、子ども教室などの事業を展開されています。

■ 「就労継続支援C型」とは

現在の障がい福祉サービスでは「C型」は存在しません。障がいの有無によらず、暮らしやすい社会をつくる理念を支える制度として提案したい事業の形であり、現在の就労継続支援A型・B型に類似する事業です。

コミュニティ（Community）の頭文字をとり、地域の困りごと（草取りやゴミ回収等）を担い、事業所の存在が地域に欠かせないものとなることを目指します。

また、地域活動への参加により、障がいのある人と地域の人が出会い、知り合うきっかけができ、お互いに困ったときに助け合う関係性を築くことができます。

* 設立時の理念 *

障がいがある方もそうでない方も共に地域で暮らし続けるまちづくり

「共に」は誰を指しているのか。

→ 三谷町に関わる人・産業・文化

「地域」はどこを指しているのか。

→ 三谷町

「まちづくり」は何を目指しているのか。

→ 「ひとづくり」と「しごとづくり」

* 現在の理念 *

まちづくりと福祉を掛け合わせる理由

福祉（普通の暮らしの幸せ）を支援の中から探し、未来の暮らしが充実し、楽しく笑いに満ちたまちを想像すること。

■ 目指すC型事業所の理想

1. 障がい者にとって自信や誇りを持てる職場であること。
2. 市民と障がい者の出会いの場を提供できること。
3. コミュニティに新たな価値を創造することができること。

■ 地域に根づく事業展開で重要なこと

1. 福祉ではなく、地域を中心に考え、地域で求められることを担うという発想を持つ。
2. 地域住民を巻き込む際に、できる範囲で参画してもらう。
3. 地域とは、共生とは、社会とは。言葉の指すものを明確にして考える。

講演会参加者の感想

- 「地域」を中心に考えていくこと、よく聞く「共生」という言葉のぼんやりとした部分を具体的にお話いただき、しっかりと自分たちの中で明確にしていかなければならないということを考えさせられました。「とりあえず、やってみる」一步をふみだすことをしていきます。
- 地域ニーズ、困りごとを活々と取り組んでもらえるように、障がい者の方にいかに動機づけていくか、楽しみを見出してもらえるのかを、これから考えていきたいと思いました。

（たくさんいただいた感想の一部を抜粋しました。）

お問い合わせ先

半田市障がい者相談支援センター（小島・森）

TEL：0569-21-5585

半田市 地域福祉課（杉浦郁・杉浦友）

TEL：0569-84-0643